

浅海地区自主防災連合会訓練実施計画

1 目的

この訓練は、浅海地区自主防災連合会の地域住民及び消防機関が、災害時における迅速かつ効果的な応急対策が実施できるよう、相互連携と地域防災力の向上を図り、自主防災組織の重要性及び地域の人々との関わりの必要性を伝えることを目的とし実施するものです。

なお、本訓練は、市域全域で行う、津波避難訓練にあわせて実施します。

2 訓練日時

平成 24 年 11 月 4 日（日） 9 時 00 分から 11 時 30 分

3 訓練場所

松山市浅海本谷 728 番地 松山市立浅海小学校

4 実施機関

浅海地区自主防災連合会

5 協力機関

松山市中央消防署北条支署
N T T 西日本四国愛媛支店

6 参加人員

| | |
|-----------------|---------|
| 浅海地区自主防災連合会 | 約 200 名 |
| 松山市中央消防署北条支署 | 5 名 |
| N T T 西日本四国愛媛支店 | 2 名 |

合計 約 207 名

7 訓練想定

平成 24 年 11 月 4 日午前 9 時 00 分ごろ、南海トラフを震源とする地震が発生、松山市でも震度 6 強を記録し、市内各地で人的被害及び家屋被害が多数発生した。特に浅海地区内においては、沿岸部に津波警報が発表されたことから、浅海地区内で結成する各自主防災会が相互に協力し、浅海小学校までの避難訓練、初期消火訓練及び救出救護訓練等の応急対策を実施する。

8 訓練の主眼

この訓練では、浅海地区自主防災連合会の地域住民が一体となり、災害時対応力の向上と相互の協力体制強化に重点を置くとともに、訓練参加者に対し防災への認識を深め、啓発を図ることである。

9 訓練次第

- ・津波警報発表に伴う避難訓練
- ・避難所運営及び安否確認訓練
- ・初期消火訓練
- ・応急担架作成訓練
- ・救出救護訓練
- ・人命救助訓練（心肺蘇生法）
- ・災害時伝言ダイヤル説明
- ・地震体験車試乗
- ・防災グッズ展示
- ・訓練講評

10 訓練内容

(1)避難訓練

- ・津波警報吹鳴後、浅海小学校体育館までの避難訓練（各自主防災会）

(2)避難所運営、安否確認訓練

- ・浅海小学校体育館での避難所運営、安否確認訓練（各自主防災会）

(3)初期消火訓練

- ・水消火器を使用した消火訓練（北条支署）

(4)応急担架作成訓練

- ・毛布及び竹の棒を使用した担架作成訓練（北条支署）

(5)救出救護訓練

- ・家具の下敷きになったことを想定した救出訓練（各自主防災会）

(6)人命救助訓練

- ・アクターを使用しての心肺蘇生法訓練（北条支署）

(7)災害用伝言ダイヤル操作説明

- ・NTT 職員による災害用伝言ダイヤル操作説明（NTT）

(8)地震体験

- ・地震体験車試乗（防災センター）

(9)訓練講評（連合会長・北条支署）

(10)その他

- ・防災パネル及び防災グッズ展示（北条支署）
- ・車両資器材展示（北条支署）